

地域安全学会優秀発表賞受賞者一覧

【令和 7 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・藤田 裕（長岡技術科学大学）「「ブラックアウト大作戦」参加者の意識および行動変容に関する追跡調査とその考察」
- ・水村 拓洋（芝浦工業大学大学院）「地理的特徴量に基づくアンサンブル学習による流域全体を対象とした洪水時の水平避難リスクの予測」

【令和 7 年度春季大会（口頭発表）】

- ・早川 宙輝（広島大学大学院）「AI 技術を活用した強震動予測技術の 2024 年能登半島地震への適用」
- ・藤田 翔乃（防災科学技術研究所）「地震災害時におけるマルチセンシングデータを用いた孤立集落の推定手法の開発」
- ・丸林 創（政策研究大学院大学）「都道府県が被災者の生活再建支援のために設置した組織について」
- ・山形 真紀（立教大学）地域安全学会「大規模災害における多数遺体の処置，遺体管理に関する研究小委員会」の活動について」

【令和 6 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・鄭 智允（横浜国立大学大学院都市イノベーション学府）「災害時の地域コミュニティにおける小規模太陽光発電所の活用可能性－自立性を考慮した立地分析－」
- ・中村 吉雄（陸前高田市防災局防災課）「AI を活用した音声型安否確認システム「シン・オートコール(1)」の開発－一斉架電と AI を活用した音声認識による避難状況や安否情報等を文字化し集約するシステムの構築－」
- ・中本 健太（輪島市総務部防災対策課）「令和 6 年能登半島地震時の受援自治体職員による対口支援の実態解明－令和 6 年能登半島地震の輪島市を事例として－」
- ・南 貴久（（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター）「避難の時間的分散のための「避難権」導入による社会的総効用の改善性に関する考察」
- ・李 知殷（株式会社構造計画研究所）「生成 AI を活用した図上訓練サポートシステムの開発－処理ロジックとプロンプトデザインの工夫による状況付与カード作成の自動化可能性に関する検討－」

【令和 6 年度春季大会（口頭発表）】

- ・金山侑真（東北大学大学院工学研究科）「東日本大震災後の災害危険区域における土地利用の変遷に関する研究」
- ・西村実穂（東京未来大学こども心理学部）「令和 5 年 7 月豪雨による秋田市内の幼保施設

の被災と保育継続」

- ・ 則竹桃実（東京大学大学院工学系研究科）「大規模水害発生時の域内避難の場所として活用可能な民間施設種の検討ー江東 5 区の民間施設を対象としたヒアリング調査からの考察ー」
- ・ 福本晋悟（毎日放送報道情報局報道センター）「令和 6 年能登半島地震の初動特別番組でキャスターは何を伝えていなかったか」
- ・ 森保純子（同志社大学大学院社会学研究科）「コミュニティ支援と避難ダイナミクス可視化のためのエージェント・ベースド・シミュレーションモデルの開発」

【令和 5 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・ 齋藤知宏（吹田市役所総務部危機管理室）「災害救助法第 2 条第 2 項「おそれ適用」の検証ー令和 4 年台風 14 号における初適用事例ー」
- ・ 山田拓実（東京大学大学院工学系研究科）「浸水対策助成制度の対象区域設定に関する実態と課題」

【令和 5 年度春季大会（口頭発表）】

- ・ 岸江竜彦（三重県防災対策部）「三重県職員を対象とした防災人材育成指針策定の取組」
- ・ 新家杏奈（東北大学災害科学国際研究所）「二重過程理論にもとづく津波避難行動に関する証言の分析」
- ・ 藤原宏之（伊勢市役所）「非常参集後に基礎自治体職員が活用するアクションカードの作成手順の開発」
- ・ 前川良栄（一般社団法人福祉防災コミュニティ協会）「放課後等デイサービス事業所における災害への備えに関する研究」
- ・ 渡邊勇（東北大学大学院工学研究科）「来訪者視点での震災伝承施設の特徴の布置：東日本大震災の 65 施設を対象とした試み」

【令和 4 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・ 上岡洋平（日本ミクニヤ株式会社）「深層学習を用いた河川監視カメラによる水面領域の抽出-令和 4 年 7 月宮城県豪雨における 検証-」
- ・ 植田大貴（常葉大学大学院環境防災研究科）「震災被害に係る 5 種類の民事訴訟内容の変遷からみた法的責任の所在の変化に関する研究」
- ・ 柴野将行（吹田市役所総務部危機管理室）「大阪府吹田市における不発弾処理に関する研究-関係機関調整と意思決定過程を事例として-」

【令和 4 年度春季大会（対面・オンライン/口頭発表）】

- ・ 加藤 春奈（東北大学大学院 工学研究科）「東日本大震災前後の名取市閑上地区における

居住環境評価アンケート結果報告」

- ・竹 順哉（よんなな防災会）「アフターファイブにおける災害対応ステークホルダーの「顔」の見える関係構築」とその効果～よんなな防災会がつなげる防災の輪～」
- ・東野 幹久（東北大学大学院 工学研究科）「東日本大震災復興事業に基づく津波被災前の高台移転による被害軽減効果―宮城県女川町をケーススタディとして―」

【令和3年度秋季大会（オンライン/ポスター発表）】

- ・岡田 恵実（豊橋市役所防災危機管理課）「豊橋市役所における横のつながりを考える研修」
- ・荻田 亜美（東京工業大学大学院 環境・社会理工学院建築学系）「U-Net を用いた旧版地図からの市街地抽出」

【令和3年度春季大会（オンライン/口頭発表）】

- ・北川 夏樹（名古屋大学 減災連携研究センター）「「一日前プロジェクト」体験談の読了による防災意識の変容に関する一考察」
- ・久保 俊一郎（東洋大学大学院国際学研究科国際地域学専攻）「中小企業のBCP策定促進に係る課題の考察～策定率の変化とその理由から～」
- ・小林 純平（北海道大学大学院工学院建築都市空間デザイン専攻）「夜間発生地震に対する人体損傷度関数の適合性並びに応用拡張性の検討」

【令和2年度秋季大会（オンライン/口頭発表）】

- ・折橋祐希氏（兵庫県立大学）「GISを用いた神戸の水害史と災害地名の関連性の分析」

【令和2年度春季大会（オンライン/口頭発表）】

- ・高橋幸宏氏（岐阜大学大学院工学研究科）「非負値行列因子分解を用いた南海トラフ巨大地震の浸水深分布の空間分布特性の要因分析」
- ・中谷典正氏（セコム山陰株式会社）「鳥取県内中小企業に対する11年間のBCP普及の取り組みと課題」

【令和元年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・宇賀光太郎氏（摂南大学大学院理工学研究科）「病院の電源喪失対策立案とその評価手法に関する考察―院内発生事案とその原因との関係図を基に―」

- ・首藤広樹氏（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）「基礎自治体の災害対策本部組織体制の運用に関する比較分析－異なる組織特性を有する 2 つの自治体の事例を対象として－」

【令和元年度春季大会（口頭発表）】

- ・有吉恭子氏（人と防災未来センター）「災害対策本部会議の実態解明～大阪府北部地震初動対応の事例から」
- ・辻岡 綾氏（同志社大学大学院社会学研究科）「災害対応にかかる思考型演習開発の経緯とその効果測定：バタバタ型からジックリ型へ」

【平成 30 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・柳谷理紗氏（仙台市役所まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室/Team Sendai）
「「Team Sendai（チームセンダイ）」による被災自治体職員の災害対応の継承に関する研究」
- ・上園智美氏（名古屋大学減災連携研究センター）「社会基盤の災害時連携対応を考える啓発ツールの効果～道路啓開をテーマとして～」
- ・橋田和明氏（株式会社博報堂ケトル）「「全国統一防災模試」にみる国民の災害対応知識の傾向分析」

【平成 30 年度春季大会（口頭発表）】

- ・河辺 賢氏（MS&ADインターリスク総研株）「熊本地震の罹災証明データを用いた深層学習による建物被害推定の可能性」
- ・川見文紀氏（同志社大学大学院社会学研究科）「東北3県における東日本大震災被災者の生活復興に対する生活再建7要素の影響に関する基礎的研究：震災から5年が経過する中での東日本大震災生活復興調査の結果から」
- ・定池祐季氏（東北大学災害科学国際研究所）「災害の「語り部」をめぐる変化-北海道奥尻町を事例として」

【平成 29 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・辻岳史氏（国立研究開発法人国立環境研究所福島支部）「混住地域における放射線災害からの地域環境創生に関する論点整理－福島県三春町を事例として－」

- ・松本将武氏（北海道大学大学院工学院）「個別要素法を用いた建物崩壊過程における人的被害発生機構推定－長野県神城断層地震被害例への適用及び比較－」

- ・戸川直希氏（東北大学大学院工学研究科土木工学専攻）「2016 年 11 月 22 日福島県沖地震津波発生時の宮城県亘理町における避難行動の実態－東日本大震災の経験や津波避難訓練との関係－」

【平成 29 年度春季大会（口頭発表）】

- ・齋藤さやか氏（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）「地震発生確率とリスク認知－地震動予測地図の認識に関する基礎的研究－」
- ・中西 翔氏（㈱インターリスク総研）「洪水ハザードマップを活用した確率論的リスク評価手法の開発」
- ・松川杏寧氏（人と防災未来センター）「神戸市における地域力活性化と安全・安心」

【平成 28 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・鈴木雄太氏（筑波大学大学院システム情報工学研究科）「地震津波時における消防団員の参集意向－千葉県 8 市町村の沿岸部消防団を対象として－」
- ・岩附千夏氏（名城大学大学院都市情報学研究科）「東日本大震災後の自主住宅移転再建に果たした民間事業者の役割と課題」
- ・佐藤翔輔氏（東北大学災害科学国際研究所）「地域安全学 夏の学校 2016－基礎から学ぶ防災・減災－」：地域安全学領域における若手 人材育成 その 1」
- ・曾根拓哉氏（大阪市立大学生生活科学部）「夏季酷暑環境による健康被害:WBGT をもとにした地域間比較」

【平成 28 年度春季大会（口頭発表）】

- ・安藤菜々（摂南大学大学院理工学研究科社会開発工学専攻）「福島県立医科大学附属病院における災害研修プログラムの実施と検証－事務系職と看護職の連携－」
- ・湯浅恭史（徳島大学環境防災研究センター）「家庭版災害時アクションカードを活用した津波避難訓練の取り組み」

【平成 27 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・南雲直子氏（国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM））「平成 27 年 9 月に茨城県常総市で発生した洪水氾濫の地理的特徴」
- ・荻野和臣氏（㈱竹中工務店技術研究所）「富士山噴火に伴う降灰荷重の評価と構造物へ及ぼす影響について」

【平成 27 年度春季大会（口頭発表）】

- ・土方孝将氏（筑波大学）「心理的要因に着目した建物火災避難動的评价－筑波大学学生宿舎を対象に－」

【平成 26 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・安本真也氏（早稲田大学）「デジタルサイネージにおける降雨情報ならびに防災啓発情報伝達のための効果的なデザインの検討」
- ・石井儀光氏（独立行政法人建築研究所）「携帯型情報端末を用いた被災建築物応急危険度判定の支援について」
- ・河野洋行氏（東京工業大学）「2014 年広島土砂災害における空撮写真を用いた地形モデルの作成と LiDAR データとの比較」
- ・川脇康生氏（兵庫県）「東日本大震災と近所づきあいの変化－災害回復力ある地域コミュニティの要因分析－」

【平成 26 年度春季大会（口頭発表）】

- ・有友春樹氏（日本ミクニヤ株式会社）「下水道 BCP 訓練における評価方法の有効性の考察」

【平成 25 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・沖 祐哉（東京工業大学 人間環境システム専攻）「防犯カメラ映像を利用した集客施設での地震時の人間行動の分析 映像のトラッキングに基づく時系列スライドの作成」
- ・馬場拓矢（常葉大学 社会環境学部）「東日本大震災における避難行動・避難生活に関する教訓継承の取組 岩手県大船渡市綾里地区の事例」

【平成 25 年度春季大会（口頭発表）】

- ・石川永子氏（人と防災未来センター）「広域巨大災害を想定した市町村長対象の災害対応研修の実践と効果分析－高知県での事例から－」

【平成 24 年度秋季大会（ポスター発表）】

- ・村田 明子氏（清水建設(株)技術研究所）「東日本大震災でのマンション被害をふまえた生活継続計画（LCP）」

- ・Yasmin Bhattacharya 氏（東京大学・工学系研究科・都市工学専攻）「Potential for Thermal benefits in Low-cost Seismic Retrofitting Technology」

【平成 24 年度春季大会（口頭発表）】

- ・東田光裕 氏（NTTサービスインテグレーション基盤研究所）「災害対策本部を対象とする図上訓練における情報処理の分析」
- ・廣井 悠 氏（名古屋大学減災連携研究センター）「2012 年 4 月 3 日の爆弾低気圧到来に関する社会調査の概要」
- ・藤生 慎 氏（東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻博士課程）「東日本大震災における自治体の建物被害認定調査の実施状況に関する分析」